

中小児童教育アンケート R4. 1実施



3年生以上で、後期の学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。災害や事故対応についての評価は今回98%でした。前期より5%高いA評価を児童がつけています。「コロナ感染症対策」や「命を守る訓練」「交通安全」等、どのように対応すればよいか場に応じて、さらに指導した表れだと思います(№15・16)。また、「先生は困っていることに対応してくれる」「先生はきちんと褒めてくれる」等で9割近い児童がA評価でした。昨年度同様高い評価をしています。担任との強い信頼関係が築かれていると考えられます。また、「仲間となかよく遊んだ」では、昨年度の同時期と同様、高い評価となっています。このことも仲間との望ましい人間関係も築きつつあると言えます。その一方で、掃除の時間の「だまって掃除」は、A評価は昨年度同様、5割程度のみです。A・B評価とすれば9割になりますが、まだまだ目指す姿には到達していないと、子どもたち自身も感じています。また、「授業中は進んで課題に取り組み、自分の考えを発表した」のA評価も他の項目に比べて低く、前年度比較すると5.2ポイント伸びていますが、子どもたち自身も呼びかけているものまだまだ頑張る必要があると思っています。学習課題に対して「自分なりの考えをもち、仲間との対話を通して深めていく学習の大切さ」を全教師で進めてまいります。さらに、ご家庭でもお子さんの家庭学習の充実を図るとともに「見届け」と「励まし」をしていただくことで子どもたちの「自己肯定感」が高まり、結果的に「学びの力」を伸ばすことにつながっていくと思います。ご協力、お願いします。